

3

教育課程について

全学共通科目	78
専門科目	84
家政科家政専攻	84
生活総合ビジネス専攻	86
食物栄養専攻	88
国文科	90
英文科	92
履修モデル	94
家政科家政専攻	94
生活総合ビジネス専攻	95
食物栄養専攻	96
国文科	98
英文科	100
教育・研究交流による単位取得	102

すべての授業科目は、各学部学科の教育方針に従って、全学共通科目や専門科目などのグループに分類され、必修科目や選択科目など、様々な条件が与えられています。これは、無秩序な科目選択をなくし、体系立てて専門分野を学んでいけるようにと、考えられたものです。短大で2年間、学修を進めていくためには、この仕組みを理解し、必要なときに必要な科目を履修していかなければなりません。

ここでは、各学科・専攻ごとに開設されている授業科目を、それぞれの分類に従って掲載しています。自分の学科で開設されている授業科目を知り、履修計画を立てるために欠かせない基礎資料です。

授業科目に関する具体的内容を知るには、P33に明記してある各学部のホームページアドレスからWebシラバスを参照してください。

3

教育課程について

1 全学共通科目

(ア) 卒業要件

家政科

(平成 23 年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考 ●短期大学部は開講せず ※単位は出すが卒業要件には入れない		
						家政科家政専攻			生活総合ビジネス専攻			家政科食物栄養専攻					
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択			
補習科目	数 学	1	半期	講義	1												
	化 学	1	半期	講義	1												
	生 物	1	半期	講義	1												
基礎科目	I 女性キャンパスライフ 大妻教養講座	1	半期	講義	1	1			1			1					
	キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2												
	女性と健康	2	半期	講義	1・2		2			2							
	ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2												
	女性史	2	半期	講義	1・2												
	II リテラシー	日本語 A (文章表現)	2	半期	講義	1											
		日本語 B (口頭表現)	2	半期	講義	1											
		日本語 C (読解)	2	半期	講義	1											
		コンピュータ基礎 A	2	半期	演習	1		2			2			2			
		コンピュータ基礎 B	2	半期	演習	1									2		
		コンピュータ応用	2	半期	演習	1・2											
	III キャリア	キャリアデザイン	2	半期	講義	2											
		職業と現代社会	2	半期	講義	2											H24 から開講
		企業と産業	2	半期	講義	2											●
		インターンシップ	2	集中	演習	2						2					●
キャリア・デベロップメントプログラム I		2	集中	演習	1・2											●	
教養科目	キャリア・デベロップメントプログラム II	2	集中	演習	2												
	I 人間と文化	文学の世界	2	半期	講義	1・2											
		音楽の世界	2	半期	講義	1・2											
		美術の世界	2	半期	講義	1・2											
		映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2											●
		考古学の世界	2	半期	講義	1・2											●
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2											●
		地域と文化	2	半期	講義	1・2		2			2						
		メディアと文化	2	半期	講義	1・2											●
		言語と文化	2	半期	講義	1・2											
		日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2											
	世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2												
	哲学と思想	2	半期	講義	1・2												
	民族と宗教	2	半期	講義	1・2												
	II 社会と生活	子どもの世界	2	半期	講義	1・2											●
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2											●
		日本国憲法	2	半期	講義	1・2											●
		法律と現代社会	2	半期	講義	1・2											
政治と現代社会		2	半期	講義	1・2												
経済と現代社会		2	半期	講義	1・2												
情報と現代社会		2	半期	講義	1・2		2	4		2	2		4				
家族と現代社会		2	半期	講義	1・2												
地域と現代社会	2	半期	講義	1・2													
福祉と現代社会	2	半期	講義	1・2											●		
ボランティアと現代社会	2	半期	講義	1・2											●		
都市と現代社会	2	半期	講義	1・2													

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数									備考 ●短期大学部は開講せず					
						家政科家政専攻			生活総合ビジネス専攻			家政科食物栄養専攻								
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択						
教養科目	Ⅲ自然と科学	数学の世界	2	半期	講義	1・2												●		
		生活の物理	2	半期	講義	1・2														
		生活の化学	2	半期	講義	1・2														
		科学と環境	2	半期	講義	1・2													●	
		生命の科学	2	半期	講義	1・2														
		生命と環境	2	半期	講義	1・2		2			2									
		宇宙の科学	2	半期	講義	1・2													●	
		人類の進化	2	半期	講義	1・2														
		自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2														●
	Ⅳスポーツ	身近な統計学	2	半期	講義	1・2														●
		スポーツA	1	半期	実技	1・2														
		スポーツB	1	半期	実技	1・2														
		スポーツC	1	半期	実技	1・2														●
		スポーツD	1	半期	実技	1・2														●
		スポーツE	1	半期	実技	1・2		1			1				1					●
		シーズン・スポーツ	1	半期 (一学期中)	実技	1・2														●
		スポーツと健康	2	半期	講義	1・2														●
		レクリエーション論	2	半期	講義	1・2														●
	レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2														●	
外国語科目	英語ⅠA	1	半期	演習	1															
	英語ⅠB	1	半期	演習	1															
	英語ⅡA	1	半期	演習	2															
	英語ⅡB	1	半期	演習	2															
	フランス語Ⅰ	1	半期	演習	1															
	フランス語Ⅱ	1	半期	演習	1															
	フランス語Ⅲ	1	半期	演習	2		2			2				2						
	フランス語Ⅳ	1	半期	演習	2															
	ドイツ語Ⅰ	1	半期	演習	1															
	ドイツ語Ⅱ	1	半期	演習	1															
	ドイツ語Ⅲ	1	半期	演習	2															
	ドイツ語Ⅳ	1	半期	演習	2															
	中国語Ⅰ	1	半期	演習	1															
	中国語Ⅱ	1	半期	演習	1															
	中国語Ⅲ	1	半期	演習	2															
中国語Ⅳ	1	半期	演習	2																
国際理解(海外研修)	2	半期	演習	1・2																
最低履修単位数						1	13	4	1	15	2	1	11	0						
							18			18			12							

※ 外国語科目Ⅱを履修する者はⅠ、Ⅲを履修する者はⅡまで、Ⅳを履修する者はⅢまでを修了しているか同程度の力を有することがのぞましい。
 ※ ●の科目は短期大学部では開講しない。ただし、履修希望者は大妻女子大学との単位互換に関する協定に基づき履修することができる。

(ア) 卒業要件
国文科・英文科

(平成 23 年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数						備考 ●短期大学部は開講せず	
						国文科			英文科				
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択		
補習科目	数学	1	半期	講義	1							※単位は出すが卒業要件には入れない	
	化学	1	半期	講義	1								
	生物	1	半期	講義	1								
基礎科目	I 女性キャンパスライフ 大妻教養講座	1	半期	講義	1	1			1				
	キャンパスライフとメンタルヘルス	2	半期	講義	1・2					2			
	女性と健康	2	半期	講義	1・2					2			
	ジェンダーと社会生活	2	半期	講義	1・2					2			
	女性史	2	半期	講義	1・2					2			
	日本語 A (文章表現)	2	半期	講義	1							国文科は開講せず	
	日本語 B (口頭表現)	2	半期	講義	1								
	日本語 C (読解)	2	半期	講義	1								
	コンピュータ基礎 A	2	半期	演習	1						2		
	コンピュータ基礎 B	2	半期	演習	1						2		
	コンピュータ応用	2	半期	演習	1・2								
	III キャリア	キャリアデザイン	2	半期	講義	2							H24 から開講 ● ● ●
		職業と現代社会	2	半期	講義	2							
		企業と産業	2	半期	講義	2							
		インターンシップ	2	集中	演習	2							
キャリア・開発プログラム I		2	集中	演習	1・2								
キャリア・開発プログラム II	2	集中	演習	2									
教養科目	I 人間と文化	文学の世界	2	半期	講義	1・2							● ● ● ●
		音楽の世界	2	半期	講義	1・2							
		美術の世界	2	半期	講義	1・2							
		映像・演劇の世界	2	半期	講義	1・2							
		考古学の世界	2	半期	講義	1・2							
		ポピュラー・カルチャーの世界	2	半期	講義	1・2							
		地域と文化	2	半期	講義	1・2		2			2		
		メディアと文化	2	半期	講義	1・2							
		言語と文化	2	半期	講義	1・2							
		日本の歴史と文化	2	半期	講義	1・2							
	世界の歴史と文化	2	半期	講義	1・2								
	哲学と思想	2	半期	講義	1・2								
	民族と宗教	2	半期	講義	1・2								
	II 社会と生活	子どもの世界	2	半期	講義	1・2							● ● ● ● ● ● ● ●
		人間の成長と心理	2	半期	講義	1・2							
日本国憲法		2	半期	講義	1・2								
法律と現代社会		2	半期	講義	1・2								
政治と現代社会		2	半期	講義	1・2								
経済と現代社会		2	半期	講義	1・2		2	4		2	4		
情報と現代社会		2	半期	講義	1・2								
家族と現代社会		2	半期	講義	1・2								
地域と現代社会	2	半期	講義	1・2									
福祉と現代社会	2	半期	講義	1・2									
ボランティアと現代社会	2	半期	講義	1・2									
都市と現代社会	2	半期	講義	1・2									

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数						備考 ●短期大学部は開講せず		
						国文科			英文科					
						必修	選択必修	選択	必修	選択必修	選択			
教養科目	Ⅲ自然と科学	数学の世界	2	半期	講義	1・2								●
		生活の物理	2	半期	講義	1・2								
		生活の化学	2	半期	講義	1・2								
		科学と環境	2	半期	講義	1・2								●
		生命の科学	2	半期	講義	1・2								
		生命と環境	2	半期	講義	1・2								
		宇宙の科学	2	半期	講義	1・2								●
		人類の進化	2	半期	講義	1・2								
		自然科学の歴史	2	半期	講義	1・2								
	Ⅳスポーツ	身近な統計学	2	半期	講義	1・2								●
		スポーツ A	1	半期	実技	1・2								
		スポーツ B	1	半期	実技	1・2								
		スポーツ C	1	半期	実技	1・2								●
		スポーツ D	1	半期	実技	1・2								●
		スポーツ E	1	半期	実技	1・2								●
		シーズン・スポーツ	1	半期 (一部集中)	実技	1・2								●
		スポーツと健康	2	半期	講義	1・2								
		レクリエーション論	2	半期	講義	1・2								●
	レクリエーション実技	1	半期	実技	1・2								●	
外国語科目	英語 I A	1	半期	演習	1									
	英語 I B	1	半期	演習	1									
	英語 II A	1	半期	演習	2									
	英語 II B	1	半期	演習	2									
	フランス語 I	1	半期	演習	1									
	フランス語 II	1	半期	演習	1									
	フランス語 III	1	半期	演習	2									
	フランス語 IV	1	半期	演習	2									
	ドイツ語 I	1	半期	演習	1									
	ドイツ語 II	1	半期	演習	1									
	ドイツ語 III	1	半期	演習	2									
	ドイツ語 IV	1	半期	演習	2									
	中国語 I	1	半期	演習	1									
	中国語 II	1	半期	演習	1									
	中国語 III	1	半期	演習	2									
中国語 IV	1	半期	演習	2										
国際理解(海外研修)	2	半期	演習	1・2										
最低履修単位数						1	13	4	3	11	4			
						18			18					

※ 外国語科目Ⅱを履修する者はⅠ、Ⅲを履修する者はⅡまで、Ⅳを履修する者はⅢまでを修了しているか同程度の力を有することががのぞましい。

※ ●の科目は短期大学部では開講しない。ただし、履修希望者は大妻女子大学との単位互換に関する協定に基づき履修することができる。

(イ) 履修方法**家政科家政専攻**

次のように科目を履修し、合計18単位以上を修得してください。

①必修科目（計1単位）

基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から「大妻教養講座」（1単位）を履修してください。

②選択必修科目（計13単位）

ア 基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から必修科目「大妻教養講座」以外の1科目（2単位）、
「Ⅱリテラシー」から1科目（2単位）を履修してください。

イ 教養科目の「Ⅰ人間と文化」から1科目（2単位）、「Ⅱ社会と生活」から1科目（2単位）、「Ⅲ自然と科学」
から1科目（2単位）、「Ⅳスポーツ」から1科目（1単位以上）を履修してください。

ウ 外国語科目（「国際理解（海外研修）」を除く）から2単位を履修してください。

③選択科目（計4単位以上）

基礎科目の「Ⅱリテラシー」、「Ⅲキャリア」、教養科目、外国語科目の中から必修科目と選択必修科目
で履修した科目以外で4単位以上を履修してください。

家政科生活総合ビジネス専攻

次のように科目を履修し、合計18単位以上を修得してください。

①必修科目（計1単位）

基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から「大妻教養講座」（1単位）を履修してください。

②選択必修科目（計15単位）

ア 基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から必修科目「大妻教養講座」以外の1科目（2単位）、
「Ⅱリテラシー」から1科目（2単位）、「Ⅲキャリア」の1科目（2単位）を履修してください。

イ 教養科目の「Ⅰ人間と文化」から1科目（2単位）、「Ⅱ社会と生活」から1科目（2単位）、
「Ⅲ自然と科学」から1科目（2単位）、「Ⅳスポーツ」から1科目（1単位以上）を履修してくだ
さい。

ウ 外国語科目（「国際理解（海外研修）」を除く）から2単位を履修してください。

③選択科目（計2単位以上）

基礎科目の「Ⅱリテラシー」、「Ⅲキャリア」、教養科目、外国語科目の中から必修科目と
選択必修科目で履修した科目以外で2単位以上を履修してください。

家政科食物栄養専攻

次のように科目を履修し、合計12単位以上を修得してください。

①必修科目（計1単位）

基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から「大妻教養講座」（1単位）を履修してください。

②選択必修科目（計11単位）

ア 基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」の必修科目「大妻教養講座」以外または「Ⅲキャリア」か
ら1科目（2単位）、「Ⅱリテラシー」から1科目（2単位）を履修してください。

イ 教養科目の「Ⅰ人間と文化」「Ⅱ社会と生活」「Ⅲ自然と科学」から2科目（4単位）を履修し、
「Ⅳスポーツ」から1科目（1単位以上）を履修してください。

なお、「Ⅲ自然と科学」の「生活の化学」「生命の科学」は履修することが望ましいです。

ウ 外国語科目（「国際理解（海外研修）」を除く）から2単位を履修してください。

国文科

次のように科目を履修し、合計18単位以上を修得してください。

①必修科目(計1単位)

基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から「大妻教養講座」(1単位)を履修してください。

②選択必修科目(計13単位)

ア 基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から必修科目「大妻教養講座」以外の1科目(2単位)、
「Ⅱリテラシー」の「コンピュータ基礎A」「コンピュータ基礎B」「コンピュータ応用」のいずれか1科目
(2単位)を履修してください。

イ 教養科目の「Ⅰ人間と文化」から1科目(2単位)、「Ⅱ社会と生活」から1科目(2単位)、「Ⅲ自然と科学」
から1科目(2単位)、「Ⅳスポーツ」から1科目(1単位以上)を履修してください。

ウ 外国語科目(「国際理解(海外研修)」を除く)から2単位を履修してください。

③選択科目(計4単位以上)

基礎科目の「Ⅱリテラシー」、「Ⅲキャリア」、教養科目、外国語科目の中から必修科目と選択必修科目で履修した科目以外で4単位以上を履修してください。

英文科

次のように科目を履修し、合計18単位以上を修得してください。

①必修科目(計3単位)

ア 基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から「大妻教養講座」(1単位)を履修してください。

イ 外国語科目の「英語ⅠA」(1単位)と「英語ⅠB」(1単位)を履修してください。

②選択必修科目(計11単位)

ア 基礎科目の「Ⅰ女性とキャンパスライフ」から必修科目「大妻教養講座」以外の1科目(2単位)を
「Ⅱリテラシー」から1科目(2単位)を履修してください。

イ 教養科目の「Ⅰ人間と文化」から1科目(2単位)、「Ⅱ社会と生活」から1科目(2単位)、「Ⅲ自然と科学」
から1科目(2単位)、「Ⅳスポーツ」から1科目(1単位以上)を履修してください。

③選択科目(計4単位以上)

基礎科目の「Ⅱリテラシー」、「Ⅲキャリア」、教養科目、外国語科目の中から必修科目と選択必修科目で履修した科目以外で4単位以上を履修してください。

(ウ) 補習科目について

学力に不安のある学生に向けて各学科で必要に応じて行う科目です。

履修し修得した単位は、卒業要件単位には含まれません。

(エ) 大妻教養講座について

全学共通科目の中に開設している「大妻教養講座」は本学の特色ある必修科目です。皆さんの母校となる大妻女子大学短期大学部がどのような伝統・目的・特質を持っているかを学び、皆さんが誇りと自信をもって本学での学生生活を送ることができるように支援します。さらに入学された皆さんが、本学で何をどう学ぶかという入門講座の役割も果たします。

(オ) 国際理解(海外研修)について

「国際理解(海外研修)」の単位を修得する学生は、本学が行っている「学生国際交流事業」の一つである、カナダのブリティッシュコロンビア大学(UBC)の生涯学習センターでの夏季英語学習プログラムに参加し、一定以上の成績を修めなければなりません。

なお、履修登録の方法については、通常と異なりますので、掲示等で確認してください。

2 専門科目

家政科家政専攻

(ア) 卒業要件

(平成23年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考
						必修	選択必修	選択	
Ⅰ 家政基礎科目	家政リレー講義	2	半期	講義	1	●			
	ライフデザイン論	2	半期	講義	1				
	家庭経営学	2	半期	講義	1				
	衣生活論	2	半期	講義	1				
	食生活論	2	半期	講義	1				
	住生活論	2	半期	講義	1				
保育学	2	半期	講義	1	●				
Ⅱ 応用科目(実験・実習)	被服学及び基礎実習	2	半期②	講義・実習	1	}	10		
	服飾造形論及び実習(洋)	2	半期②	講義・実習	2				
	服飾造形論及び実習(和)	2	半期②	講義・実習	2				
	アパレル設計・生産及び実習	2	半期②	講義・実習	2				
	染色学及び実習	2	半期②	講義・実習	2				
	アパレル企画論及び演習	2	半期②	講義・演習	1				
	消費科学演習	2	半期	演習	2				
	衣料学及び実験	2	半期②	講義・実験	1				
	インテリアコーディネイト演習	2	半期②	講義・演習	2				
	生活工芸論及び実習	2	半期②	講義・実習	1				
	基礎調理及び実習	2	半期②	講義・実習	1				
	食物学及び基礎実験	2	半期②	講義・実験	2				
	応用調理及び実習	2	半期②	講義・実習	2				
	フードプランニング論及び実習	2	半期②	講義・実習	2				
	食品学及び実験	2	半期②	講義・実験	2				
	児童学及び演習	2	半期②	講義・演習	1				
	ビジネス実務演習	2	半期	演習	1・2				
秘書実務	2	半期	演習	1・2					
家政論演習	2	半期	演習	2					
Ⅲ 応用科目	服飾文化論	2	半期	講義	2	}	18		
	服飾デザイン論	2	半期	講義	2				
	アパレル設計・生産論	2	半期	講義	1				
	消費科学	2	半期	講義	1				
	ファッション商品論	2	半期	講義	2				
	衣環境論	2	半期	講義	2				
	被服整理学	2	半期	講義	1				
	被服繊維学	2	半期	講義	1				
	食品流通生活論	2	半期	講義	1				
	食品学	2	半期	講義	1				
	食品加工学	2	半期	講義	2				
	栄養学	2	半期	講義	1				
	調理学	2	半期	講義	1				
	食品衛生学	2	半期	講義	2				
	フードスペシャリスト論	2	半期	講義	2				
	フードコーディネイト論	2	半期	講義	2				
	食文化論	2	半期	講義	2				
	小児保健	2	半期	講義	1・2				
	家族関係論	2	半期	講義	2				
	発達心理学	2	半期	講義	2				
家庭看護論	2	半期	講義	1・2					
社会福祉論	2	半期	講義	2					
生活マナー論	2	半期	講義	1・2					

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考
						必修	選択必修	選択	
Ⅲ応用科目	生活色彩論	2	半期	講義	1				
	生活環境論	2	半期	講義	1・2				
	ウェルネス論	2	半期	講義	1・2				
	生活商品販売論	2	半期	講義	1・2				
	ビジネス実務総論	2	半期	講義	1・2				
	秘書学概論	2	半期	講義	1・2				
自由科目	児童文化論	2	半期	講義	1・2				
	環境・身体から見た文化	2	半期	講義	1・2				
	心理学から見た文化	2	半期	講義	1・2				
	世界の中の日本	2	半期	講義	1・2				
	ジャーナリズムから見た文化	2	半期	講義	1・2				
	英米児童文学	2	半期	講義	1・2				
	ことば・生活・社会	2	半期	講義	1・2				
	英米女性史	2	半期	講義	1・2				
女性学	2	半期	講義	1・2					
最低履修単位						10	28	8	
						46			

注(1) 自由科目は4科目8単位を限度として専門科目の選択の単位に含めることができる。

(イ) 履修方法

- a 配当された年次で科目を履修すること。
科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。
- b 他学科、他専攻の科目は履修できません。

(ウ) 注意事項

- a 選択必修科目は、Ⅱ応用科目（実験・実習）から10単位、Ⅲ応用科目では18単位を履修すること。
- b 選択科目は、「Ⅰ家政基礎科目」「Ⅱ応用科目（実験・実習）」「Ⅲ応用科目」の中から必修科目と選択科目で履修した科目以外及び「自由科目」の中から8単位以上を履修すること。
- c 衣料管理士（2級）資格及びフードスペシャリスト資格は、家政科で資格取得を認められ、登録料を納入した学生だけが、所定の科目を修得し「認定試験」に合格することにより取得できます。資格取得のための受講を認められなかった学生が所定の科目を修得しても資格を取得することはできません。
- d 図書館学課程、衣料管理士（2級）、フードスペシャリスト資格については、「**[4]** 諸課程について」を熟読すること。

(ア) 卒業要件

(平成23年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			資格取得に必要な科目 ●印は必修科目、○印は選択科目)		備考	
						必修	選択必修	選択	ビジネス系士	秘書士		
家政基礎科目	家政リレー講義	2	半期	講義	1				○		注1	
	家庭経営学	2	半期	講義	1							
	衣生活論	2	半期	講義	1・2		6					
	食生活論	2	半期	講義	1・2							
	住生活論	2	半期	講義	1・2							
保育学	2	半期	講義	1・2								
生活とビジネス	ライフデザイン論	2	半期	講義	1	14						
	生活総合ゼミナール	2	半期	演習	2							
	生活ビジネス論	2	半期	講義	1・2					●		○
	ビジネス実務総論	2	半期	講義	1・2					●		○
	ビジネス実務演習	2	半期	演習	1・2							○
	秘書学概論	2	半期	講義	1・2							●
秘書実務	2	半期	演習	1・2					●			
現代社会とビジネス	情報と文化	2	半期	講義	1・2				○			
	国際交際論	2	半期	講義	1・2		2		○			
	日本の産業	2	半期	講義	1・2			16	○			
	生活経済論	2	半期	講義	1・2				○			
生活情報とビジネス	生活と情報倫理	2	半期	講義	1・2				○			
	情報ネットワーク論	2	半期	講義	1・2		2		○			
	ウェブデザイン演習	2	半期	演習	1・2				○			
	インターネットと社会	2	半期	講義	1・2				○			
マネジメントビジネス	経営学総論	2	半期	講義	1・2				○			
	オフィスマネジメント論	2	半期	講義	1・2				○			
	商品流通販売論	2	半期	講義	1・2		2		○			
	企業会計論	2	半期	講義	1・2				○			
	能力開発論	2	半期	講義	1・2				○			
ビジネス実務	プレゼンテーション	2	半期	演習	1・2				○			
	ビジネス英語Ⅰ	2	半期	演習	1・2				○			
	ビジネス英語Ⅱ	2	半期	演習	1・2		2		○			
	ビジネス文書実務	2	半期	演習	1・2				○			
	ビジネスマナー演習	2	半期	演習	1・2				○			
	企業実習(含インターンシップ)	2	半期	実習	1・2				○			
自由科目	児童文化論	2	半期	講義	1・2							
	環境・身体から見た文化	2	半期	講義	1・2							
	心理学から見た文化	2	半期	講義	1・2							
	世界の中の日本	2	半期	講義	1・2							
	ジャーナリズムから見た文化	2	半期	講義	1・2							
	英米児童文学	2	半期	講義	1・2							
	ことば・生活・社会	2	半期	講義	1・2							
	英米女性史	2	半期	講義	1・2							
女性学	2	半期	講義	1・2								
最低履修単位						14	14	16				
						44						

注(1)「ビジネス実務総論」と「ビジネス実務演習」は、秘書士資格を取得するためには選択単位だが、卒業必修単位となっているので必ず履修すること。
 注(2)自由科目は4科目8単位を限度として専門科目の選択の単位に含めることができる。

(イ) 履修方法

- a 担当された年次で科目を履修すること。
 科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。
- b 他学科、他専攻の科目は履修できません。

(ウ) 注意事項

- a 選択必修科目は、「家政基礎科目」から6単位、「現代社会とビジネス」から2単位、「生活情報とビジネス」から2単位、「ビジネスマネジメント」から2単位、「ビジネス実務」から2単位を履修すること。
- b 選択科目は、「家政基礎科目」、「現代社会とビジネス」、「生活情報とビジネス」、「ビジネスマネジメント」、「ビジネス実務」及び「自由科目」の中から、選択必修科目で履修した科目以外で16単位以上を履修すること。
- c 図書館学課程については、「[㊦ 諸課程について](#)」を熟読すること。
- d ビジネス実務士資格、秘書士資格については、「[㊦ 諸課程について](#)」を熟読すること。

(ア) 卒業要件

(平成 23 年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数		備考
						必修	選択	
必修科目	公衆衛生学	2	半期	講義	1	55		
	生活環境学実験	1	半期②	実験	1			
	社会福祉論	2	半期	講義	2			
	栄養生理学(含運動生理学)	2	半期	講義	2			
	人体構造論(含運動生理学)実験	1	半期②	実験	2			
	人体構造論(含機能)	2	半期	講義	1			
	病理学	2	半期	講義	1			
	生化学	2	半期	講義	2			
	食品化学(含食品機能論)	2	半期	講義	1			
	食品化学(含食品機能論)実験	1	半期②	実験	2			
	食品加工貯蔵学	2	半期	講義	2			
	食品加工貯蔵学実験	1	半期②	実験	2			
	食安全学	2	半期	講義	1			
	食安全学実験	1	半期②	実験	2			
	基礎栄養学	2	半期	講義	1			
	栄養化学	2	半期	講義	1			
	栄養化学実験	1	半期②	実験	2			
	臨床栄養学	2	半期	講義	1・2			
	臨床栄養学実習	1	半期②	実習	1・2			
	ライフステージ栄養学	2	半期	講義	1			
	ライフステージ栄養学実習	1	半期②	実習	1			
	栄養指導論	2	半期	講義	1			
	食教育論	2	半期	講義	1			
	栄養指導論実習Ⅰ	1	半期②	実習	2			
	栄養指導論実習Ⅱ	1	半期②	実習	2			
	公衆栄養学	2	半期	講義	1			
	給食管理論Ⅰ	2	半期	講義	1			
	給食管理論Ⅱ	2	半期	講義	1			
	給食管理実習Ⅰ	1	半期②	実習	1			
	給食管理実習Ⅱ	1	半期②	実習	1			
	調理科学	2	半期	講義	2			
	調理学実習Ⅰ	1	半期②	実習	1			
調理学実習Ⅱ	1	半期②	実習	2				
校外実習指導Ⅰ	1	半期	演習	1				
校外実習指導Ⅱ	1	半期	演習	2				
校外実習	1	-	実習	2				
選択科目	食文化特論	2	半期	講義	1	4		
	食物栄養特論	2	半期	講義	2			
	健康科学論	2	半期	講義	2			
最低履修単位						55	4	
						59		

(イ) 履修方法

- a 配当された年次で科目を履修すること。
科目の配当年次は変更になることがあるので、授業時間割等で確認すること。
- b 他学科、他専攻の科目は履修できません。
- c 選択科目は、開講されている科目をできるだけ履修すること。

国文科

(ア) 卒業要件

(平成 23 年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考
						必修	選択必修	選択	
専門科目	日本語学	日本語の基礎 A	2	半期	講義	1	4	2	16
		日本語の基礎 B	2	半期	講義	1			
		日本語の口頭表現 A	2	半期	演習	1・2			
		日本語の口頭表現 B	2	半期	演習	1・2			
		日本語の文章表現 A	2	半期	演習	1			
		日本語の文章表現 B	2	半期	演習	1			
		日本語の発生と展開	2	半期	講義	2			
		現代の日本語	2	半期	講義	2			
		くずし字を読む A	2	半期	演習	1・2			
		くずし字を読む B	2	半期	演習	1・2			
	日本文学	日本文学・文化講義 A	2	半期	講義	1	4	6	
		日本文学・文化講義 B	2	半期	講義	1			
		日本文学の歴史(古典) A	2	半期	講義	1			
		日本文学の歴史(古典) B	2	半期	講義	1			
		日本文学の歴史(近・現代) A	2	半期	講義	1			
		日本文学の歴史(近・現代) B	2	半期	講義	1			
		日本文学を読む(古典) A	2	半期	演習	2			
		日本文学を読む(古典) B	2	半期	演習	1・2			
		日本文学を読む(近・現代) A	2	半期	演習	2			
		日本文学を読む(近・現代) B	2	半期	演習	1・2			
	中国文学	児童文学を読む	2	半期	講義	1・2	4		
		俳句をつくる	2	半期	講義	1・2			
		小説を書く	2	半期	講義	1・2			
		中国文学の歴史 A	2	半期	講義	1			
		中国文学の歴史 B	2	半期	講義	1			
		中国文学を読む A	2	半期	演習	2			
	日本文化	中国文学を読む B	2	半期	演習	1・2	6		
		漢字の発生と展開	2	半期	講義	1・2			
		中国文学と日本文学	2	半期	講義	1・2			
		文化批評の基礎	2	半期	講義	1・2			
		文化批評の展開	2	半期	講義	1・2			
		映像から見た文化	2	半期	講義	1・2			
芸能から見た文化		2	半期	講義	1・2				
美術から見た文化		2	半期	講義	1・2				
音楽から見た文化		2	半期	講義	1・2				
マンガから見た文化		2	半期	講義	1・2				
国文学	地域から見た文化・歴史	2	半期	講義	1・2				
	女性のための仕事論	2	半期	講義	1・2				
	ジェンダーから見た文化	2	半期	講義	1・2				
	文学・文化と風土	2	半期	講義	1・2				
	文学・文化歴史踏査	2	集中	演習	1・2				
	児童文化論	2	半期	講義	1・2				
	環境・身体から見た文化	2	半期	講義	1・2				
心理学から見た文化	2	半期	講義	1・2					

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考
						必修	選択必修	選択	
日本文化	世界の中の日本	2	半期	講義	1・2	6			
	ジャーナリズムから見た文化	2	半期	講義	1・2				
	編集技術	2	半期	講義	1・2				
	コンピュータと情報検索	2	半期	講義	1・2				
卒業論文・創作	6	通年	演習	2					
自由科目	服飾文化論	2	半期	講義	1・2				
	食文化論	2	半期	講義	1・2				
	発達心理学	2	半期	講義	1・2				
	ウェルネス論	2	半期	講義	1・2				
	ビジネス実務総論	2	半期	講義	1・2				
	ビジネス実務演習	2	半期	演習	1・2				
	秘書学概論	2	半期	講義	1・2				
	秘書実務	2	半期	演習	1・2				
	英米児童文学	2	半期	講義	1・2				
	ことば・生活・社会	2	半期	講義	1・2				
	英米女性史	2	半期	講義	1・2				
女性学	2	半期	講義	1・2					
最低履修単位						14	18	16	
						48			

注 (1) 通年科目については、前期または後期のみの履修は認めない。

注 (2) 自由科目は4科目8単位を限度として専門科目の選択科目の単位(16単位)に含めることができる。

(イ) 卒業論文・創作について

卒業論文・創作に関する規定

- 国文科の学生が卒業するためには、授業科目である「卒業論文・創作」を受講し、「卒業論文・創作」(研究成果)を提出して、指導教員の審査を受けなければならない。
- 「卒業論文・創作」(研究成果)の題目は、あらかじめ指導教員の承認を受け、6月下旬頃に指導教員に提出すること。(期日等はその都度掲示する。)
- 題目の変更は指導教員の承認を受け、10月はじめ頃に国文共同研究室に届け出ること。(期日等はその都度掲示する。)
- 「卒業論文・創作」(研究成果)は、所定の提出期間内に国文共同研究室に提出し、審査を申請しなければならない。(期日等はその都度掲示する。)
- 「卒業論文・創作」(研究成果)の審査は専任教員(又は、これに準ずる者)が行う。
- 「卒業論文・創作」(研究成果)の作成にあたっては、別途定める「卒業論文・創作提出要領」を参照すること。

(ア) 卒業要件

(平成 23 年度入学生から適用)

区分	授業科目名	単位	期間	講義・演習等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考
						必修	選択必修	選択	
基 礎 科 目 専 門 科 目 研 究 科 目	リーディング・ストラテジーズ	1	半期	演習	1	14			
	リスニング・ストラテジーズ	1	半期	演習	1				
	アドバンスト・リーディング	1	半期	演習	1				
	アドバンスト・リスニング	1	半期	演習	1				
	コミュニケーション・スキルズ	1	半期	演習	1				
	プレゼンテーション	1	半期	演習	1				
	英米の生活と文化ⅠA	2	半期	講義	1				
	英米の生活と文化ⅠB	2	半期	講義	1				
	英米の生活と文化ⅡA	2	半期	講義	2				
	英米の生活と文化ⅡB	2	半期	講義	2				
	レクチャーⅠ国際ビジネス・コミュニケーションA	2	半期	講義	1・2	8			
	レクチャーⅠ国際ビジネス・コミュニケーションB	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅡ比較文化論A	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅡ比較文化論B	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅢ英語学A	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅢ英語学B	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅣイギリスの文化A	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅣイギリスの文化B	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅤアメリカの文化A	2	半期	講義	1・2				
	レクチャーⅤアメリカの文化B	2	半期	講義	1・2				
	セミナーⅠ-1ビジネス・イングリッシュA	1	半期	演習	2	6			
	セミナーⅠ-1ビジネス・イングリッシュB	1	半期	演習	2				
	セミナーⅠ-2カレント・イングリッシュA	1	半期	演習	2				
	セミナーⅠ-2カレント・イングリッシュB	1	半期	演習	2				
	セミナーⅡ-1世界と日本の文化A	1	半期	演習	2				
	セミナーⅡ-1世界と日本の文化B	1	半期	演習	2				
	セミナーⅡ-2比較文化A	1	半期	演習	2				
	セミナーⅡ-2比較文化B	1	半期	演習	2				
	セミナーⅢ-1英語の歴史A	1	半期	演習	2				
	セミナーⅢ-1英語の歴史B	1	半期	演習	2				
	セミナーⅢ-2日英語の比較A	1	半期	演習	2				
	セミナーⅢ-2日英語の比較B	1	半期	演習	2				
セミナーⅣ-1イギリスの文化(近代)A	1	半期	演習	2					
セミナーⅣ-1イギリスの文化(近代)B	1	半期	演習	2					
セミナーⅣ-2イギリス文化(現代)A	1	半期	演習	2					
セミナーⅣ-2イギリス文化(現代)B	1	半期	演習	2					
セミナーⅤ-1アメリカの文化(近代)A	1	半期	演習	2					
セミナーⅤ-1アメリカの文化(近代)B	1	半期	演習	2					
セミナーⅤ-2アメリカの文化(現代)A	1	半期	演習	2					
セミナーⅤ-2アメリカの文化(現代)B	1	半期	演習	2					
セミナーⅥ-1児童英語教育の方法A	1	半期	演習	2					
セミナーⅥ-1児童英語教育の方法B	1	半期	演習	2					
セミナーⅥ-2児童英語教育ワークショップA	1	半期	演習	2					
セミナーⅥ-2児童英語教育ワークショップB	1	半期	演習	2					
卒研セミナーA	1	半期	演習	2	16				
卒研セミナーB	1	半期	演習	2					

区分	授 業 科 目 名	単位	期間	講義・演習 等の別	配当年次	卒業必要単位数			備考	
						必修	選択必修	選択		
研究 科目	卒 業 研 究	4	通年	—	2					
	国際コミュニケーション研究Ⅰ	2	集中	講義	1・2					
関 連 科 目	国際コミュニケーション研究Ⅱ	2	—	演習	1・2					
	アクティブ・キャリア・トレーニング	2	集中	講義	1・2					
	世界の神話と宗教A	2	半期	講義	1・2					
	世界の神話と宗教B	2	半期	講義	1・2					
	欧米のメディア	2	半期	講義	1・2					
	欧米の映画・演劇	2	半期	講義	1・2					
	イギリス地域研究A	2	半期	講義	1・2					
	イギリス地域研究B	2	半期	講義	1・2					
	アメリカ地域研究A	2	半期	講義	1・2					
	アメリカ地域研究B	2	半期	講義	1・2					
	比較思想	2	半期	講義	1・2					
	英米思想	2	半期	講義	1・2					
	ポピュラー・フィクション	2	半期	講義	1・2					
	ポピュラー・ソングズ	2	半期	講義	1・2					
	女性学	2	半期	講義	1・2					
	英米女性史	2	半期	講義	1・2					
	英米児童文学	2	半期	講義	1・2					
	ことば・生活・社会	2	半期	講義	1・2					
	自 由 科 目	服飾文化論	2	半期	講義	1・2				
		食文化論	2	半期	講義	1・2				
発達心理学		2	半期	講義	1・2					
ウェルネス論		2	半期	講義	1・2					
ビジネス実務総論		2	半期	講義	1・2					
ビジネス実務演習		2	半期	演習	1・2					
秘書学概論		2	半期	講義	1・2					
秘書実務		2	半期	演習	1・2					
児童文化論		2	半期	講義	1・2					
環境・身体から見た文化		2	半期	講義	1・2					
心理学から見た文化		2	半期	講義	1・2					
世界の中の日本		2	半期	講義	1・2					
ジャーナリズムから見た文化	2	半期	講義	1・2						
最低履修単位						14	14	16		
						44				

注 (1) 自由科目は4科目8単位を限度として専門科目の選択科目の単位（16単位）に含めることができる。

注 (2) 「国際コミュニケーション研究Ⅱ」の単位を修得しようとする者は、英文科がおこなっている海外語学研修プログラムに参加し、一定以上の成績を修めること。

詳細は学科ガイダンス等で説明する。

(イ) 卒業研究について

a 卒業研究に関する規定

- (a) 卒業研究は専門科目のうち選択科目（4単位）である。
- (b) 卒業研究の単位を修得するためには、指導教員の卒研セミナーAおよびB（2年次）の単位を修得しなければならない。
- (c) 学生は早くから計画を立て、提出に至るまで研究方向とその方法について積極的に指導教員から指導を受けること。

b 卒業研究作成要領

- (a) 卒業研究執筆にあたっては次の事項に注意すること。
 - ①提出締切日の厳守
 - ②卒業研究は英文、和文のどちらで書いてもよい。長さは400字詰原稿用紙30枚程度とする。英文の場合はそれに準ずる長さとする。
 - ③目次（Contents）と参考文献表（Bibliography）は必ずつけること。
- (b) 以上のほか、詳細は追って英文共同研究室で発表するのでその指示に従うこと。

3 履修モデル

本学では、目標や学びたいことに合わせて科目選択をすることが可能です。

各学科で目的別に4年間の履修モデルを紹介しています。履修モデルを参考に自分の目的にあわせたオリジナルな履修計画を立ててください。

※履修科目は一例です。卒業するためには、修業年限を満たし、各学科で定められた「卒業要件単位数」を修得しなければなりません。

家政科家政専攻

教育目標

- 1 衣、食、住、環境、健康、人間関係、保育など幅広く、また専門的知識を身につけた人材を育成する。
- 2 体験や実学を重視し、専門的実践的技術、知識、応用力を身につける。
- 3 豊かな教養と知性に基づく生活マナーの実践を通して大妻の気質を育む。

学科が求める学生像

- 1 将来どのような生活を創り上げていくかに関心のある人
- 2 社会の動きや日々の生活に興味と関心を示す意欲的な人
- 3 よく考えて自立して行動し、なお、誠実で思いやりのある人

2年間の学び

1年次には、大妻教養講座などの一般教養や、家政リレー講義などを履修しながら、将来の自分の進むべき方向を探り、その準備をする。英語やコンピュータの操作など、将来どの方向に進むにしても必要とされる基礎的な知識を修得しておくことが望まれる。

2年次には、1年次に定めた目標に向かって、さらなる準備を進めるとともに、その実現のために、実際に行動を起こす。具体的には、編入試験、就職試験、各種資格試験に挑戦し、卒業後の進路を具体化するとともに、卒業に向けて最後の仕上げをする。

履修モデル

1 衣料管理士（テキスタイルアドバイザー）2級資格取得を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	大妻教養講座 日本語 A（文章表現） スポーツ A コンピュータ基礎 A 女性と健康	被服繊維学 衣科学及び実験 被服整理学 アパレル企画論及び演習 アパレル設計・生産論 生活色彩論 消費科学 被服学及び基礎実習
2年	地域と現代社会 地域と文化 コンピュータ基礎B	染色学及び実習 アパレル設計・生産及び実習 服飾デザイン論 インテリアコーディネート演習 ファッション商品論 衣環境論 消費科学演習

2 フードスペシャリスト資格取得を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	大妻教養講座 女性と健康 コンピュータ基礎A 生活の化学 スポーツと健康	食品学 調理学 基礎調理及び実習 栄養学 食品流通生活論 食生活論 小児保健
2年	コンピュータ基礎B 生命の科学 生命と環境	フードスペシャリスト論 食品学及び実験 食物学及び基礎実験 食品加工学 食品衛生学 応用調理及び実習 フードコーディネート論 食文化論

家政科生活総合ビジネス専攻

教育目標

家政学の基本を学ぶことによって教養豊かな生活人として成長するとともに、現代社会の仕組みを理解し、身につけた情報処理能力・ビジネススキルによって企業人として即戦力となる人材を育成します。

学科が求める学生像

- 1 社会の仕組みや社会情勢に関心を持っている人
- 2 将来企業人として働き、社会に貢献する意欲のある人
- 3 情報処理能力やビジネススキルの向上に積極的な人
- 4 家庭人としての教養を身につけることを望んでいる人

2年間の学び

1年次には「生活とビジネス」区分の必修科目はもちろん、その他の専門科目をできるだけ多く履修し、各種検定資格に挑戦する。大妻教養講座や家政基礎科目も同時に学ぶ。特にコンピュータ関連の科目は「必修」と心得、少なくとも word、excel はマスターする。

2年次にはインターンシップ、就職活動、編入試験など将来に関わる活動に力を注ぎ、併せて進路に関連のある科目を履修し、資格に挑戦する。

履修モデル

1 「秘書士」または「ビジネス実務士」取得を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年～2年	大妻教養講座 コンピュータ基礎 A コンピュータ基礎 B 日本語 A 日本語 B	「秘書士」の場合 ④諸課程を参照 「ビジネス実務士」の場合 ④諸課程を参照

2 「秘書検定」取得を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年～2年	日本語 A 日本語 B	秘書学概論 ビジネス実務総論 ビジネス実務演習 秘書実務 経営学総論

3 「日商 PC 検定」取得を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年～2年	コンピュータ基礎 A コンピュータ基礎 B コンピュータ応用 日本語 A 日本語 B	ビジネス文書演習 ビジネス実務演習 秘書実務

(注)・コンピュータ基礎 A は word 中心、コンピュータ基礎 B は excel 中心、コンピュータ応用 は powerpoint 等中心。いずれも相応の力がある人は履修しなくても可。
・資格の詳細についてはオリエンテーションで説明する。

家政科食物栄養専攻

教育目標

健康に対する志向が高まり、生活の質の向上が求められている今日、日々の食生活を担う栄養士の役割は大切です。食物栄養専攻は、食と栄養の専門家である栄養士の養成を目的とし、食と健康に関わる知識と技術を身につけ、健康づくりに貢献できる専門的知識をもった人材を育てます。なお、栄養士として備えるべき知識と技術全般を体得するため、病院、保育所、老人福祉施設、会社・事業所などでの校外実習を必修科目としています。

学科が求める学生像

食と健康について学び、栄養士として社会に貢献したい人／食に関心を持ち、体力・気力があり、明るい人／何事にも意欲的に取り組み、労力を惜しまない人／自分や家族の健康管理ができるようになりたい人

2年間の学び

1年次には、専門科目では、栄養士法施行規則にそった教育内容6分野に属する科目のなかで、栄養士業務を遂行するために具備すべき基礎となる知識を学びます。化学と生物の基礎的な知識は、全ての専門科目を理解するために共通して必要であるため、教養科目として履修します。

2年次には、1年次の基礎的知識を具体的に実践し体得するために、実験・実習での授業形態が多く組まれています。ある事象を正しく判断・分析して、改善・対応策を自力で見い出してゆく能力を身に付けます。さらに、様々な背景を有する人々に対して、適切な栄養指導・支援のできる応用能力を養います。

履修モデル

1 栄養士免許の取得を目指して学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	<ul style="list-style-type: none"> 基礎科目 <ul style="list-style-type: none"> I(必) 大妻教養講座 I(選必) キャンパスライフとメンタルヘルス II(選必) コンピュータ基礎 A 教養科目 <ul style="list-style-type: none"> III(選必) 生活の化学 III(選必) 生命の科学 外国語科目 <ul style="list-style-type: none"> 英語 I A または I B 	<ul style="list-style-type: none"> 必修科目 <ul style="list-style-type: none"> 「社会生活と健康」分野 公衆衛生学 生活環境学実験 「人体の構造と機能」分野 人体構造論(含機能) 病理学 「食品と衛生」分野 食品化学(含食品機能論) 食安全学 「栄養と健康」分野 基礎栄養学 栄養化学 ライフステージ栄養学 ライフステージ栄養学実習 「栄養の指導」分野 栄養指導論 食教育論 公衆栄養学 「給食の運営」分野 給食管理論 I 給食管理論 II 給食管理実習 I 給食管理実習 II 調理学実習 I 校外実習指導 I 選択科目 食文化特論
2年	<ul style="list-style-type: none"> 教養科目 <ul style="list-style-type: none"> IV(選必) スポーツ A または B 外国語科目 <ul style="list-style-type: none"> 英語 II A または II B 	<ul style="list-style-type: none"> 必修科目 <ul style="list-style-type: none"> 「社会生活と健康」分野 社会福祉論 「人体の構造と機能」分野 栄養生理学(含運動生理学) 人体構造論(含運動生理学)実験 生化学 「食品と衛生」分野 食品化学(含食品機能論)実験 食安全学実験 食品加工貯蔵学 食品加工貯蔵学実験 「栄養と健康」分野 栄養化学実験 臨床栄養学 臨床栄養学実習 「栄養の指導」分野 栄養指導論実習 I 栄養指導論実習 II 「給食の運営」分野 調理科学 調理学実習 II 校外実習指導 II 校外実習 選択科目 健康科学論または食物栄養特論

国 文 科

教育目標

私たちは「ことば」を使って考え、考えることで文学・文化を創造してきました。日本人である私たちはこれまで日本語をつかってきました。この日本語によって作られた文学・文化とはどのようなものか、それを考え深めることは日本の社会を、そして世界の国々とは何かを考えることにつながります。本学部国文科は、日本語、文学・文化の学びと研究を通して、自分の表現能力を高め、文学とは何か、文化とは何かについての理解を深めます。また現代社会を生きていくために必要な情報の収集・分析能力を身につけ、豊かな人間性を背景に日本文化を世界に発信できる人材を育成することを目標としています。

学科が求める学生像

国文科では、日本の言語と文学・文化を、より深く体系的・専門的に学ぶことによって、論理的思考力を養い、人間の生き方を学び、人間性豊かな社会人として国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。したがって、本学科では、こんな学生を希望します。

- 日本の言語と文学・文化に興味をもっている学生
- 社会人として活躍する2年後を見ずえて、自分の将来を真剣に考える学生

2年間の学び

- 1年次 日本列島に住みついた日本人は、中国をはじめ諸外国から言語、文学、文化を吸収し、漢字、かな、草書といった文字を駆使して、『源氏物語』のような古典文学作品や独自の文化を誕生させ、現代の多様なマルチメディア社会での言語、文学、文化を生み出しています。この社会を理解するための基礎的知識を取得します。
- 2年次 1年次で取得した基礎的知識を発展させると同時に、現代国際社会・マルチメディア社会を生き抜くために必要な応用的知識、分析力、総合力を深化させ、あわせて本学の校訓である「恥を知れ」を得し、人格の陶冶された社会人になることを目指します。

履修モデル

1 言語を中心に学ぶ

- 1年 現代日本語についての文字・表記を中心に、文法も含めて基礎的な知識と実用的な能力を養成する。
- 2年 現代日本語の現状を客観的に把握させる。あわせて、現代日本語についての研究態度・方法を身につけさせる。

全学共通科目	専門教育科目
大妻教養講座 キャンパスライフとメンタルヘルス 女性と健康 ジェンダーと社会生活 女性史 コンピュータ基礎 A コンピュータ基礎 B コンピュータ応用 哲学と思想 民族と宗教 法律と現代社会 政治と現代社会 経済と現代社会 地域と現代社会 都市と現代社会 生活の物理 生活の化学 生命の科学 生命と環境 人類の進化 自然科学の歴史 スポーツ A スポーツ B スポーツと健康 外国語(英語、フランス語、ドイツ語、中国語) 国際理解(海外研修)	日本語の基礎 A・B 日本語の発生と展開 日本語の文章表現 A・B 日本語の口頭表現 A・B 現代の日本語 漢字の発生と展開 コンピュータと情報検索 女性のための仕事論 卒業研究

2 文学を中心に学ぶ

- 1年 我が国の古典文学、中国文学、児童文学を含む近現代文学作品の著名なものを分析し、読解力、作品の成立や時代背景を探る。
- 2年 日本人が歴史をかけて発展させてきた文字へのまなざしを進化させ、また俳句や小説を作品化することで文学とは何かを考える。

全学共通科目	専門教育科目
大妻教養講座 キャンパスライフとメンタルヘルス 女性と健康 ジェンダーと社会生活 女性史 コンピュータ基礎 A コンピュータ基礎 B コンピュータ応用 文学の世界 哲学と思想 民族と宗教 法律と現代社会 政治と現代社会 経済と現代社会 地域と現代社会 都市と現代社会 生活の物理 生活の化学 生命の科学 生命と環境 人類の進化 自然科学の歴史 スポーツ A スポーツ B スポーツと健康 外国語(英語、フランス語、ドイツ語、中国語) 国際理解(海外研修)	くずし字を読む A・B 日本文学・文化講義 A・B 日本文学の歴史(古典) A・B 日本文学の歴史(近・現代) A・B 日本文学を読む(古典) A・B 日本文学を読む(近・現代) A・B 児童文学を読む 中国文学の歴史 A・B 中国文学を読む A・B 中国文学と日本文学 文学・文化と風土 文学・文化歴史踏査 俳句をつくる 小説を書く コンピュータと情報検索 女性のための仕事論 卒業研究

3 文化を中心に学ぶ

- 1年 現代社会における文化の様々なあり方を知るとともに、それらを構造的にとらえる視点を養う。
- 2年 1年次での知識を基礎に、社会のなかで今後どのように応用していくべきなのか、その実践的な意義を探る。

全学共通科目	専門教育科目
大妻教養講座 キャンパスライフとメンタルヘルス 女性と健康 ジェンダーと社会生活 女性史 コンピュータ基礎 A コンピュータ基礎 B コンピュータ応用 音楽の世界 美術の世界 地域と文化 メディアと文化 日本の歴史と文化 世界の歴史と文化 哲学と思想 民族と宗教 法律と現代社会 政治と現代社会 経済と現代社会 地域と現代社会 都市と現代社会 生活の物理 生活の化学 生命の科学 生命と環境 人類の進化 自然科学の歴史 スポーツ A スポーツ B スポーツと健康 外国語(英語、フランス語、ドイツ語、中国語) 国際理解(海外研修)	文化批評の基礎 文化批評の展開 映像から見た文化 芸能から見た文化 美術から見た文化 音楽から見た文化 マンガから見た文化 ジャーナリズムから見た文化 ジェンダーから見た文化 文学・文化と風土 地域から見た文化・歴史 児童文化論 環境・身体から見た文化 心理学から見た文化 世界の中の日本 コンピュータと情報検索 女性のための仕事論 卒業研究

英 文 科

教育目標

英語を通して、21世紀の世界に向かって自分のメッセージを発信していける人材を育成します。そのためには、英語による表現能力を高め、英米を始めとした世界の文化に深い関心を持って自分の主張を組み立てることを目標とします。

学科が求める学生像

- ・国際センスを磨きたい人
- ・英語力を生かした仕事をしたい人
- ・短期間で英語力を伸ばしたい人

2年間の学び

1年次：基礎科目によって英語の4技能の基礎力を養い、英語による表現能力を高めます。合わせて、英米を始めとした世界の文化に興味を持ってもらいます。

2年次：「ビジネス」、「文化」、「言語」、「文学」の4分野から自分に合った分野をいくつか選んで、「セミナー」を中心に専門的に学びます。自分の主張を組み立てるために「卒研セミナー」、「卒業研究」も受講します。

履修モデル

1 ビジネスを中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	コンピュータ基礎A コンピュータ基礎B	レクチャーⅠ国際ビジネス・コミュニケーションA・B
2年	コンピュータ応用	セミナーⅠ-1ビジネス・イングリッシュA・B セミナーⅠ-2カレント・イングリッシュA・B 卒研セミナーA・B 卒業研究

2 文化を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	世界の歴史と文化 日本史と文化 メディアと文化	レクチャーⅡ比較文化論A・B
2年	地域と文化 民族と宗教	セミナーⅡ-1世界と日本の文化A・B セミナーⅡ-2比較文化A・B 比較思想 英米思想 世界の神話と宗教A・B 卒研セミナーA・B 卒業研究

3 言語を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	日本語A（文章表現） 日本語B（口頭表現）	レクチャーⅢ英語学A・B
2年		セミナーⅢ-1英語の歴史A・B セミナーⅢ-2日英語の比較A・B ことば・生活・社会 卒研セミナーA・B 卒業研究

4 文学を中心に学ぶ

区分	全学共通科目	専門教育科目
1年	日本語A (文章表現) 日本語B (口頭表現) 文学の世界	レクチャーⅣイギリスの文化A・B レクチャーⅤアメリカの文化A・B
2年	日本語C (読解) 世界の歴史と文化	セミナーⅣ-1 イギリスの文化 (近代) A・B セミナーⅣ-2 イギリスの文化 (現代) A・B セミナーⅤ-1 アメリカの文化 (近代) A・B セミナーⅤ-2 アメリカの文化 (現代) A・B イギリス地域研究A・B アメリカ地域研究A・B 卒研セミナーA・B 卒業研究

4 教育・研究交流による単位取得

大妻女子大学との単位互換について

相互の協力交流を通じ教育課程の充実をはかるとともに、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を目的として平成18年7月13日に協定を締結しました。

この協定に基づき、大妻女子大学短期大学部の学生は、大妻女子大学の全学共通科目を「特別聴講学生」として履修することができます。

受講者調整を実施しているため、後期に開講する科目で受け入れに余裕がある科目が対象となっています。

大妻女子大学で取得した単位は、下記のとおり修得でき、本学の卒業要件に算入することができます。

家政科家政専攻	4単位を超えない範囲で全学共通科目の単位数に含めることができる。
家政科生活総合ビジネス専攻	4単位を超えない範囲で全学共通科目の単位数に含めることができる。
家政科食物栄養専攻	4単位を超えない範囲で全学共通科目の単位数に含めることができる。
国文科	4単位を超えない範囲で全学共通科目の単位数に含めることができる。
英文科	2単位を超えない範囲で全学共通科目の単位数に含めることができる。

